

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 元 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		排水路管理事業				②事業番号		6304	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
						年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		7		項		3	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		下水道課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 管理排水路		① 対象地区		地区	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
要望等により、以下の業務を委託している。 ・排水路内の草刈 ・排水路の浚渫 ・排水路施設の修繕 ・排水路改修工事		① 要望回数		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
排水路の機能を保持、改善し、良好な状態を保つ。		① 修繕件数		件	
		① 計算式			
		② 清掃件数		件	
		② 計算式			
		③ 工事件数		件	
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
浸水被害防止のための排水施設の整備とその適切な管理・運用を進める。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします	
		施策中		1 河川・ため池の保全と活用	
		施策小		2 排水施設の整備	

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	対象地区	地区	20	20	20	20	20	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	要望回数	回	2	0	3	2	2	
活動指標②								
活動指標③								—
成果指標①	修繕件数	件	5	3	2	3	3	
成果指標②	清掃件数	件	10	11	15	11	11	
成果指標③	工事件数	件	1	0	0	0	0	
事業費	投入人員	人	0.25	0.50	0.50	0.50		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,008	4,054	3,856	3,856		—
	直接事業費	千円	5,115	3,659	2,303	6,610		
	総事業費	千円	7,123	7,713	6,159	10,466		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	7,123	7,713	6,159	10,466		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	排水路の維持管理を行うことを目的として事業化している。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	農地の減少により、用水路としての機能がなくなり、排水路として管理する水路が増えてきている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	排水路の整備とその適切な管理・運用を行うことは、浸水被害防止に寄与している。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	排水路は公共性が高く、防災等の観点からも行政が責任を持って対応する必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	泉南市で管理する排水路及び管理内容は決まっており、適切に行っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	適切な排水路の管理が行われなければ、周辺環境や衛生面又、防災においても影響が大きい。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	排水路の清掃等により、大雨時にスムーズに排水できるようになっている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	老朽化した排水路構造物を計画的に改修することで、成果の向上が図られる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	農業用水路や道路側溝等の類似するものがある。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **B**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	委託内容の見直し等により、コスト削減の努力をしていく。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	排水路を維持・管理していくことは、周辺環境を向上させ、又治水の面からも必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—